



体験型講習会  
第2弾!!

## 研修委員会のイベントプレ案内

『集中力の高め方』～東大・甲子園・日本一へ導いたメンタル強化法～

昨年は「できる」イメージの大切さ、「心を込める」「心を合わせる」ことによる力の結集などをご指導頂きました。  
今年はさらに踏み込み、スポーツに限らず、学力向上などあらゆる分野につながる「集中力の高め方」をメインテーマとしてご指導頂きます。

【講師】川谷 潤太 (カワタニ ジュンタ)

【日時】令和4年12月10日(土) ●開場 13:30 ●開演 14:00

【会場】〒519-4325 熊野市有馬町 3537 熊野市防災公園 屋根付き練習場

【参加者資格】紀南地域の小学4年生以上対象

(保護者・教職員の皆さまも参加できます)

入場無料

参加希望の方は  
「Google フォーム」より  
お申し込みをお願いします



好評につき昨年に続いて川谷潤太先生を招へいます。年代や競技種目にとらわれず指導されており、全国の学校や PTA、企業研修、労働組合でも講師を務めている人気講師です。ビジネス・スポーツ・受験・子育て・健康において、その人の根本的問題を解決することによって、最大限に能力を伸ばすことができる知恵とコツを教えて頂きます。

## 家庭幼児教育委員会のイベントプレ案内

### 第1弾 紀宝町わくわくフェスティバル協賛

親子で楽しく共同制作活動

① 箸置き作成 ② モルック体験



【日時】令和4年10月23日(日) 13:00~16:30

雨天時は1週間延期します→10月30日(日)

【場所】紀宝町鶴殿港に集合

【参加者資格】どなた様でも参加可能です(事前申し込み不要)

第2弾予告 親子で楽しく学ぶ防災体験(防災意識の啓発)

【日時】2023年1月~2月前半予定しています

【場所】紀宝町学びの郷館内・屋外利用

【予定企画】

① 煙体験ハウス ② 消火器放水的当て体験 ③ AED 体験



## 令和4年度議会請願の出願状況報告



1. 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書
2. 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書
3. 防災・減災対策の拡充を求める請願書
4. 義務教育費国庫負担制度の拡充を求める請願書

本年度は、熊野市・御浜町・紀宝町に請願、無事採択頂きました。紹介議員様にお礼を申し上げます。

## 令和4年度紀南PTA連合会定期総会について

3年連続、本年度も予定しておりました令和4年度紀南 PTA 連合会定期総会について、新型コロナウイルスの感染拡大により、開催を自粛致しました。つきましては、事業計画・会計・予算等に於いて、各学校長及び PTA 会長様等の代議員5名の議決権において書面決議による総会開催とし、承認いただきましたことを報告いたします。



## SDGs 阿田和中学校廃品回収の活動紹介

2022年8月18日に阿田和中学校が地域の皆様と協力して、アルミ缶廃品回収の活動を実施しました

10年以上続くこの活動は、もともとは生徒会会費の資金集めを目的に、生徒活動により行われていました。現在はアルミ缶の回収を行っておりますが、当初はビール瓶が回収の対象だったそうです。

阿田和中学校の全校生徒が、1学期の終業式に「アルミ缶回収のお願いのチラシ」を持ち帰り、一人一人が5枚以上のチラシを地域の皆様に配布しております。この活動を知ってもらうことで、地域の皆様からも多大なるご協力を頂いております。

小さなことから始まった活動が、今では阿田和中学校全体、育友会や地域の方々も参加して頂いている、毎年の恒例行事となっています。



## 2022年度 紀南PTA連合会の3カ年計画

### 1. 総務委員会

SDGs活動の拡販を中心に、子ども達への志を伝える活動を見える化。リアルタイムで情報連携するツール(HP/FaceBook)等の拡充を図る。

### 2. 進路研究委員会

毎年の県教育長への陳情、木本高校・紀南高校の活性化に向け、紀南地域高等学校活性化推進協議会への提言を継続実施。議会請願は、子ども達の未来を見据えて、国に対する請願を検討。

### 3. 広報委員会

紀南 P 連や各単位 PTA の様々な活動を、加入頂いている保護者、さらには、地域全体に広める為の活動を行っています。令和2年度から実施の皆様とのパイプとなる、広報活動の充実に向けた展開を図る。



会長：野地本 隆

### 4. 研修委員会

コロナ禍での新たなイベント取組策を、市・町の使用可能な設備環境を行政と連携して、地域の方が参加できるイベントを計画中。

### 5. 家庭幼児教育委員会

研修委員会と同じく、公共の設備環境を利用した「子ども達の、心と体の触れあい」をテーマとして、地域の方との共生を検討。

コロナウィルスの蔓延は、驚くことに数年に渡り、第7波が押し寄せる環境下、2022年度の紀南PTA連合会(以下、紀南P連)は、3年連続で総会は書面決議となり、世の中は、with COVID の中を生きぬく事を余儀なくされました。

本年度のテーマは、「SDGsと共に生きる未来への“志”」

サブテーマは、「自分のすべき事・他人の為に出来る事」

私たちの大きな課題は、令和2年度に掲げられた地域共生での意識改革です。SDGsをどこより先駆けて、紀南P連は取り上げて推進してまいりました。本年度、野地本隆が3カ年計画の集大成をなすべく重責を担う覚悟で、会長を拝命させて頂きました。

21世紀において、経済主導の資本主義は個人主義に重きを置くようになり、「日本人が本当に大切にしてきた人と人との絆」が希薄になってきました。

その中でも東日本大震災、コロナ禍と、世界は日本の在り方に期待を寄せています。私たちは、紀南P連というこの地域最大の団体の力をもって、子ども達に大人の生き方を示す必要があります。

SDGsの活動を、東紀州の片田舎から全国に届ける潮流として、子ども達、保護者、教員の枠組みを超えた、地域共生での意識改革を継続して進めてまいります。



昨年度、立ち上げた紀南P連ホームページ：<https://www.kinanpta.com> は、「子どもの為に、何が出来るか! 活動の中でどのような楽しみを見つけ、スキルアップの改革が出来るか!」を地域全体に、活動紹介できる場として5事業を見える化します。各事業の活動が、子どもの為・地域の為、何が出来るのか? 実践の場となり“志”をつなげていきたいと考え、和気あいあいの機運をつくり皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



## 御浜町立 御浜小学校

# みんなの笑顔がつながって 全校ドッチボール大会を行いました！



コロナ禍において、PTA行事は、次々と縮小・中止を余儀なくされ、恒例だったPTA球技大会も中止になり、毎年参加している保護者からは、惜しむ声も多く上がっていました。

今まで当たり前だったことを見直す中で、改めて、PTA行事の持つ意義を考える機会になり、何とか保護者も子どもたちといっしょに活動できる場を設定できないかと悩んでいたところ、児童会の体育委員会から全校ドッチボール大会について提案が出されました。土曜授業日に全学年、子ども対保護者でドッチボールを行うという内容です。

ルールに工夫を凝らし、感染防止対策を実施の上、体育委員会の進行とともに、PTA役員の方々にも運営に協力していただきました。



当日、どの学年も目を輝かせて、大人相手に思い切りボールを投げ、大人が取り損なうと大きな歓声があがります。大人も負けじと本気でボールを投げ、その速さにも歓声があがっていきます。円陣を組んで士気を高める子どもたちの姿に、大人たちもうかうかしてられないと他学年の保護者に応援を頼むなど白熱した展開に。

あちこちでファインプレーに拍手がおこり、珍プレーに笑いがはじけます。運動場が笑顔であふれ、勝ち負けではない一体感が生まれていました。「もっとしたい」という子どもたち、「受けて立つぞ!」「完全に筋肉痛...」という大人たちの姿も。子どもたちの笑顔のために、PTAのつながりの大切さを痛感しました。



## ～自己の未来を創造する～

### 「自ら学ぶ・仲間と学ぶ・地域と学ぶ」

本校は、村立中学校として設立され、学校再配置を経て昭和33年御浜町立御浜中学校と改称、昭和62年志原に現校舎が新校舎として完成し、今に至ります。現在、全校生徒数は117名で年々減少傾向にあります。生徒達は、

#### 【御浜中の学校生活三原則】

1. あいさつをしっかりとる。
2. 掃除をしっかりと行う。
3. 授業にしっかりと取り組む。

を脈々と引継ぎ学校生活を送っています。



## 御浜町立 御浜中学校

1学期は、体育祭、授業公開や人権学習（パラアスリート招聘、車椅子バスケット体験）時に学校開放を行い、保護者に子どもたちの活動を見て頂きました。

2学期は、本校育友会研修（本校PTA会員研修）として、助産院にお勤めの方をお招きして“命と性”の講話、会員相互の親睦レクリエーション等を計画しています。

また、11月の御浜町総合防災訓練には全校で参加を予定し、さまざまな教育活動を地域・保護者とともに考え、活動できる取り組みを進めています。



春の体育祭



車椅子バスケット体験



命と性の話



町防災訓練





# 育友会ソフトバレーを 楽しみました！

## 熊野市立 木本中学校



今年度、木本中学校校育友会は、コロナ禍にありながらも、できる範囲を確認しながら、活動を再開しています。

7月7日(木)に2年ぶりに親睦球技大会を開催しました。平日夜間でしたが、たくさんの会員が体育館に集い、ソフトバレーボールを楽しみました。1時間の制限の中、親子での参加もあり、白熱したゲームに、歓声はありませんでしたが、たくさんの拍手で保護者、生徒、教職員の親睦を深める機会となりました。



7月12日(火)にはお母さん心理学認定コーチ・カウンセラーの倉本ふみ子さんを講師にお招きし、「オンライン講座」の第2回を開催しました。

子育てに前向きに取り組むことができ、その上、ほっこりとした気分になれる講座を、年間を通じ継続した取組として行っています。

感染対策など、制限もありますが、役員を中心に相談し、工夫しながら、今後も育友会活動を続けていきたいと思ひます。



### 広報委員長の つぶやき。

竹にはフンがある  
そのフンがあるからこそ  
竹は雪にも負けない強さを  
持つのだ

本田宗一郎

自動車やバイクで有名な「ホンダ」の創業者のことばです。竹には節があり、柔軟に伸びちぢみして、節が多い竹ほどしなやかな強さを持ちます。人生においても経験する苦労や困難などが、わたしたちの節になると思ひます。いま世界的にもコロナ禍や競争など、大変困難な状況にありますが、その経験がこころの節となり、次の成長の糧となるように願っています。

井上明

# 学校パネルクイズ 26

きみにはとけるか！？  
Mr. Inoueからの挑戦状！！

26ある学校の場所がわかると答えが見えてくるよ！！  
じぶんがかよっている学校はどこかわかるな？  
お父さん・お母さんがかよった学校もきいてみよう！

くまのし 熊野市

御浜町

紀宝町

いざというとき  
ヒント あわてずに！

には何がはいるかな？

正解者の中から  
抽選で26名様に  
景品をプレゼント！！

「Google フォーム」より  
応募してください

くまのし  
熊野市

- |                        |                              |
|------------------------|------------------------------|
| きのもしょうがっこう<br>A. 木本小学校 | ありましょうがっこう<br>G. 有馬小学校       |
| いどしょうがっこう<br>B. 井戸小学校  | かなやましょうがっこう<br>H. 金山小学校      |
| きのもちゅうがっこう<br>C. 木本中学校 | いるかしょうがっこう<br>I. 入鹿中学校       |
| あすかしょうがっこう<br>D. 飛鳥小学校 | ありまちゅうがっこう<br>J. 有馬中学校       |
| いさとしょうがっこう<br>E. 五郷小学校 | いるかしょうがっこう<br>K. 入鹿小学校       |
| あすかちゅうがっこう<br>F. 飛鳥中学校 | あたししょう・ちゅうがっこう<br>L. 新鹿小・中学校 |

みはまちょう  
御浜町

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| みはましょうがっこう<br>M. 御浜小学校    | みはまちゅうがっこう<br>P. 御浜中学校                      |
| こうしやましょうがっこう<br>N. 神志山小学校 | あたわちゅうがっこう<br>Q. 阿田和中学校                     |
| あたわしょうがっこう<br>O. 阿田和小学校   | おろしがくえん<br>R. 尾呂志学園<br>しょう・ちゅうがっこう<br>小・中学校 |

きほうちょう  
紀宝町

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| いだしょうがっこう<br>S. 井田小学校    | おのだにしょうがっこう<br>W. 相野谷小学校 |
| こうのうちしょうがっこう<br>T. 神内小学校 | やぶちゅうがっこう<br>X. 矢淵中学校    |
| なるかわしょうがっこう<br>U. 成川小学校  | おのだにちゅうがっこう<br>Y. 相野谷中学校 |
| うどのしょうがっこう<br>V. 鶴殿小学校   | うどのようちえん<br>Z. うどの幼稚園    |

- |       |   |         |    |
|-------|---|---------|----|
| 15    | → | □ □ □ □ | ない |
| 8 1   | → | □ □ □ □ | い  |
| 19 9  | → | □ □ □ □ | な  |
| 13 15 | → | □ □ □ □ | い  |



# 令和4年度 県立高等学校募集定員並びに、施設設備に関わる陳情



令和4年6月16日、三重県教育委員会 教育長 木平芳定様に、例年恒例の紀南地域の陳情を実施しました。

紀南PTA連合会・木本高等学校PTA・紀南高等学校PTA・東紀州くろしお学園PTA・三重県教職員組合紀南支部・三重県教職員組合牟婁校支部の6者連盟。

## 【陳情討論について】

令和2年度、木本高校の総合学科が1学級減となり、令和7年度には生徒の大幅な減少がみこまれており、木本・紀南両校の募集定員については課題があり、統合検討も令和4年度に大きな山を迎える事となります。

学びたい場所で、誰もが学べる教育に地域格差のない環境構築を切に願います。令和4年度の県立高等学校募集定員の策定に向けても、進学生員数の減少の中、昨年度と同数の定員を確保出来たことは、大きな成果と判断しています。

学内設備の充実、進学・就労支援の体制強化、防災における対応拡充、防災教育、訓練の実施等の回答を頂きました。

支援を要する生徒が増加傾向にある中、東紀州くろしお学園は、紀南地域における特

## 【紀南P連からの提言】

進路研究委員会を通して、昨年の活動実績を提示しました。年間を通じて、陳情、紀南高等学校活性化推進協議会に向けた意見陳述の調整を含めて活動を実施。広報誌にて、PTA連合会の活動の実績を報告。令和3年度後期アンケートは、186件の意見を報告しました。小さな活動でも、継続して積み上げて行くことで、大きな

潮流となるように、小中学生の保護者の意見をお伝えする機会を設けて、地域全体での意識の高揚を継続対応していく事を目指します。

今年度も、東紀州を中心に「SDGsと共生に生きる未来への『志』の為に出来る事」が、PTA・行政の3者が連携して推進していきたいと訴えました。



別支援教育のセンター的機能を担っています。多様な子どもを受け入れることができる特別支援学校としての体制整備、特別支援学校教諭、自立活動教諭など障害種別・領域にあった有資格者の増員、配置の対応も検討頂いておるとの回答でした。

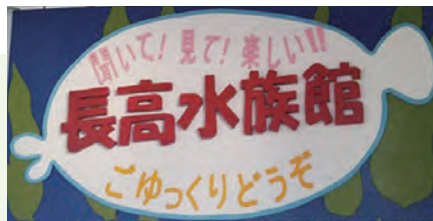
木本高校定時制の存続も同様に「学び直し」の学校、「働きたがら学ぶ」学校として、学力、社会性の育成を図り、自己実現を通して、地域社会の貢献の存続も陳情しています。

## 令和4年度 本部役員名簿

役職	氏名	所属名
会長	野地本 隆	阿田和中学校
副会長(兼 研修副委員長)	中澤 武	鵜殿小学校
副会長(兼 進路研究副委員長)	高垣裕人	木本中学校
副会長	松川麻由	入鹿小学校
家庭幼児教育委員長	大倉正宗	鵜殿小学校
家庭幼児教育副委員長	塩谷 肇	相野谷中学校
研修委員長	瀬古忠史	木本小学校
研修副委員長	上野英信	矢淵中学校
広報委員長	井上 明	鵜殿小学校
広報副委員長	奥田高久	御浜中学校
広報副委員長	西地丈浩	阿田和小学校
進路研究委員長	倉本崇弘	御浜小学校
進路研究副委員長	陰地 康	有馬中学校
総務委員長	角 大地	金山小学校
総務副委員長	前川隆史	有馬小学校
アドバイザー	大崎重久	御浜中学校
アドバイザー	脇濱ゆう子	矢淵中学校
アドバイザー	北裏和樹	阿田和小学校
アドバイザー	黒瀧一輝	有馬小学校
アドバイザー	西那隆史	御浜小学校
アドバイザー	榎本健治	うどの幼稚園
事務局長(兼 総務副委員長)	樋山慎也	御浜小学校
事務局次長(兼 家庭幼児教育副委員長)	井上祐一	飛鳥小学校
監事	奥地孝弘	御浜小・中学校
監事	吉野大樹	飛鳥中学校

## 紀南地域高等学校活性化推進協議会 報告

令和4年度は、本会議も最終年度となる予定にて、5回程度の実施を想定されています。本年度末には、方向性を協議する段階に入りました。「無理」と諦めず、子ども達のために地域活性化を目指し活動報告いたします。



### 【紀南P連の提出書類】

- 令和3年度後期アンケートPTA連合会員186名の意見書
- 全国の特徴のある高校情報：愛媛県立長浜高等学校・水族館部

想定4案が提示され、メリット・デメリットの検討が行われました。

- ・想定A案：1校5学級規模
- ・想定B案：2校連携して(4学級+1学級)
- ・想定C案：2校連携して(1校3学級+1校2学級)
- ・想定D案：2校独立して(1校3学級+1校2学級)



本年度は、全国の特色のある高校の紹介資料も提示されました。紀南P連が、この2年間の会議で言い続けてきたことは、現状推移する学生の数だけで上記4案の可否判定をすべきではなく、この地域が本当に必要な学校をつくる事を、想定する必要が最善策であるということでした。

木本高校・紀南高校が、単独で存続するにも、統合するにも、未来に向けて、この紀南地域に必要な学校に改善していく事が、アンケート内容からも伺えます。

その為には、コロナ禍において都会から生徒の受け入れによる人数増も視野に入れ、地域特性を持つ高等学校策定にむけた協議が必要と感じます。前提条件が変われば、メリット・デメリットは変わります。

皆様のお子様方が将来行きたいと願う高等学校策定に向けた取組みには是非参加して、紀南P連進路研究委員会と共に、活動支援をお願い申し上げます。

## 令和4年度 評議委員名簿 ※委員長及び副委員長には紀南PTA連合会本部役員が着任しています

役職	総務委員会		進路研究委員会		広報委員会		研修委員会		家庭幼児教育委員会	
	氏名	所属名	氏名	所属名	氏名	所属名	氏名	所属名	氏名	所属名
委員長	角 大地	金山小学校	倉本崇弘	御浜小学校	井上 明	鵜殿小学校	瀬古忠史	木本小学校	大倉正宗	鵜殿小学校
副委員長	前川隆史	有馬小学校	陰地 康	有馬中学校	奥田高久	御浜中学校	上野英信	矢淵中学校	塩屋 肇	相野谷中学校
副委員長	樋山慎也	御浜小学校	高垣裕人	木本中学校	西地丈浩	阿田和小学校	中澤 武	鵜殿小学校	井上祐一	飛鳥小学校
委員	澤田昌也	五郷小学校	中山雅貴	入鹿中学校	喜田良樹	井戸小学校	沢田拓郎	木本小学校	松川麻由	入鹿小学校
委員	須川 大	成川小学校	畑 佳孝	鵜殿小学校	野地本隆	阿田和中学校	林 信男	神志山小学校	奥山容平	神内小学校
委員	門田浩幸	相野谷小学校	榎本典暁	新鹿小・中学校	赤崎和人	御浜中学校	産屋敷一宏	尾呂志学園	濱田直行	金山小学校
委員	田岡 祐	有馬小学校	中田真司	有馬中学校	中山貴司	矢淵中学校	川原田竜太	井田小学校	奥地孝弘	御浜小学校
委員	福田伸孝	飛鳥中学校			時田康司	木本中学校				

編集後記 「紀南PTA連合会」FaceBook、HomePage 開設済み。リアルタイムでの活動、イベント情報も掲載いたしますので、応援お願いいたします。お気づきの点がございましたら、ご連絡お願い申し上げます。本会(各委員会)へのご質問・ご相談・ご要望等(奨励点・提案事項等)をお寄せください。

### 紀南PTA連合会広報委員会発行

住所：〒519-4323 熊野市木本町622-13  
FAX 番号：0597-88-2511  
メールアドレス：kinanpta@outlook.jp